

□ 古都祝奈良2026-2027 事業計画(案)

KOTO
HOGU
NARA

こ
ほ
な
と
う
ら

古都祝奈良

奈良市アートプロジェクト

◆古都祝奈良の時空旅行

東アジア国際シンポジウム

古都祝奈良の学校

- 「古都祝奈良の時空旅行」を大枠として、他プログラムも古都祝奈良の時空旅行のパッケージ内で展開することで、現代アートの多様な試行的プロセスや表現活動の一端に触れる機会の提供を図る。
- 参加者、来場者が各々で文化芸術観光ツアーを計画して回遊すること促すような観光型パンフレットを作成
- 奈良市公式アプリ「SHIKA no ASHIATO」内デジタルスタンプラリー機能も活用

古都祝奈良の時空旅行		
古来	キム・スージャ	古都祝奈良の学校 GMC
近来	中崎 透	まちなか舞台
未来	コ・ケンリョウ 顧 剣亨	古都祝奈良の学校 GMC、コトナラボ部 東アジア国際シンポジウム
展示 exhibition		参加 participation

奈良市アートプロジェクト「古都祝奈良2026-2027」

奈良市固有の価値を高め
都市格を上げる

都市
文化

(第2次奈良市文化振興計画)

市民
文化

市民が主役・文化のまちづくり
を目指す

□ 令和8年度 事業スケジュール(予定)

R8.8月	9月	10月	11月	12月	R9.1-2月
広報展開					
初旬 令和8年度プログラム概要公開 ・ホームページ ・しみんだより 8月号	初旬 令和8年度プログラム詳細随時公開 ・ホームページ ・パンフレット				
			プログラム展開		
			11月7日(土)～11月29日(日) ※コア期間 21日(土)～23日(月) 古都祝奈良の時空旅行		
			7日(土)～29日(日) 中崎透作品／顧 剣亨作品		
			8日(日)仮 東アジア国際シンポジウム		
			13日(金)～29日(日)仮 キム・スージャ作品		
			21日(土)～22日(日) 古都祝奈良の学校・GMC②		
			22日(日)～23日(月) まちなか舞台		
9月5日(土) 古都祝奈良の学校 (事前説明会)・GMC①			12月～2月 古都祝奈良の学校 (教科書制作)		

●古都祝奈良の時空旅行①

東アジア文化都市10周年記念
文化の多様性・包摂性のルーツを再確認する文化芸術観光ツアー

招聘作家による制作・展示

東アジア文化都市2016奈良市のコア企画「古都祝奈良ー時空を超えたアートの祭典」の理念を継承し、古代奈良の寛容性・多様性・交流の精神を、現代の表現活動を通して問い直すプログラム



見えないものの伝播・精神性

キム・スージャ (韓国)

古来

×

東大寺観音院 (調整中)



シルクロードの終着点が生んだ
「多様性の原風景」



参加と社会

中崎 透 (日本)

近來

×

椿井市場 (調整中)



名もなき人々の営みが積み重なった
復興と荒廃の共存



情報・仮想

顧 剣亨 (中国)

(コ・ケンリョウ)

×

未来

北山十八間戸 (調整中)



かつての救済の場から
「共生の未来」へと繋ぐ

- 古代から未来へ連綿と連なる様々な時間層が同時に実在する奈良市で、それぞれの時代性を色濃く残す空間を舞台に、招聘作家による作品や市民の文化芸術活動を展開。

- 中崎氏はアーティスト・イン・レジデンスのように奈良市民との対話を経て、作品制作を行う。

令和8年度 事業概要

●古都祝奈良の時空旅行②

市民の文化芸術活動



近來 まちなか舞台 × 行基広場

連携（調整中）

まちなか舞台プログラムディレクター

田上豊（劇作家・演出家）

- ・ 公募で集まった劇団や役者、パフォーマー達が時空旅行への出発地点として近鉄奈良駅前行基広場で来場者を迎える
- ・ 中高生による青少年演劇Lite版の初の野外公演

東アジア文化都市10周年記念
文化の多様性・包摂性のルーツを再確認する文化芸術観光ツアー

- ・ 招へい作家の奈良での制作段階においては、奈良人材のよるコーディネート进行想定し、奈良でのアート人材育成を図る。
- ・ ただし、キム・スージャ氏については海外を拠点としており、より高度なコーディネートを必要とするため、海外参加のコーディネート経験が豊富な株式会社ArtTankがコーディネートをを行う。

コトナラボ部



奈良町見知ル



- ・ 自発的な市民の文化芸術活動（コトナラボ部等）や既存の文化芸術・観光コンテンツとも連携し奈良市内を回遊する仕組みにすることで、本プログラムによって奈良の時間と空間を移動する体験を提供する。
- ・ 既存の文化芸術・観光コンテンツとの連携方法としては、双方の広報媒体に事業告知を掲載する等により行う。

●東アジア国際シンポジウム

【会場】奈良女子大学記念館（調整中）

古都祝奈良の時空旅行開催に合わせて、
東アジアの多様性・包摂性を再び考えるシンポジウム

時空旅行の招聘作家のアーティストトークや有識者を交えたシルクロードから奈良への文化受容の歴史を再認識する。

●古都祝奈良の学校

【会場】ならまちセンター

プログラムディレクションチーム

小山田 徹（美術家・京都市立芸術大学学長）

藤 浩志（美術家・秋田公立美術大学名誉教授）



「教科書をつくること」と「奈良で若手アーティストの活動の場を開くこと」
を目的としたプロジェクト



- ・奈良で新たな表現を目指す人向けに、1泊2日の学校を展開する。
3年目の今年度は、昨年度制作した「古都祝奈良の学校 教科書0号」で集められたキーワードの視点で参加者自身の作品プランを掘り下げる。
- ・参加者が本プログラムの趣旨を十分に理解した上で参加できるよう「事前説明会」も実施。
- ・学校で交わされたディスカッション等を言語化・編集し、新しく奈良でアート活動をする際の手引きとなる「教科書」を発行する。
- ・グリーン・マウンテン・カレッジは学校授業の一環として9月、11月に実施。ゲストは学校講師のブブドラマドレーヌ（奈良市在住・ヴェネチア芸術祭個人参加）他を予定、学校の学生たちの会話とともに、アートの知恵が「夜のならまち」に宿る場を創出する。



□ 次年度以降の展開について

現状

- 「東アジア文化都市2016」から10年間、レガシー事業として奈良市アートプロジェクト「古都祝奈良」を継続
- 10年間で自治体の現代アート事業は定番化（パブリックアート・地域芸術祭の定着）
- 多分野におけるめまぐるしい技術革新により人の価値観や思考も変容

構想目標①奈良市アートプロジェクト「古都祝奈良」によりゼロイチの価値を生み出す

課題

2030年「JR新駅開業、八条・大安寺のまちびらき」における新たなまちづくりにおいて、そのポテンシャルを文化の側面から底上げし、全国に発信していくことが必要。完成された都市を目指すのではなく、文化芸術による余白や雑味で「奈良らしい人間性」を感じる都市に

実践案 八条・大安寺地区の新たなまちづくりにおける奈良市アートプロジェクト 5 か年事業案

2027 接続	2028 発掘	2029 共創	2030（新駅開業） 仮設	2031 胎動
近鉄奈良駅周辺地区と八条・大安寺地区を結ぶプログラム。プレ・リサーチを開始。	八条・大安寺エリアの歴史的・民族的背景をアーティストが掘り起こし、可視化するプログラム。	八条・大安寺周辺地区の市民や未来の住人を巻き込んだワークショップ型制作。	西口広場や高架下を活用し「未来の風景」を先取りする大規模インスタレーション。	若手アーティストの卵たちが集う「実験的滞在（レジデンス）」を開始。彼らが市民と雑談し、完成された計画にはない「小さな表現」が街のあちこちに漏れ出すスタート地点。

構想目標②文化芸術の力でもって、本当のゆたかさについて考え・発信するポテンシャルを奈良が持つことを示す

課題

地球規模においては、社会課題の複雑化や地政学的な緊張が高まっている

実践

「Old History, New Discovery.」を旗印に奈良独自のこれからの文化芸術が蓄積される土壌醸成を見据えたプログラムを実施